

2015年秋学期の米国大学在籍者総数、前年同期比1.7%減の約1,930万人（12月16日）

米国学生情報センター研究所（National Student Clearinghouse Research Center）は12月15日、2015年秋学期の大学在籍者数に関する報告書「現学期在籍者推定数 ～2015年秋学期～（Current Term Enrollment Estimates - Fall 2015）」を発表した。これによると、2015年秋学期の米国大学在籍者総数は約1,930万人で、前年同期比1.7%減であることが明らかにされた。また、25歳以上の学生の在籍者数は、過去3年間連続で減少しており、2015年秋学期は前年同期から4.3%に相当する30万8,000人減であったという。それ以外の主要な結果は以下の通り。

- ・2015年秋学期の在籍者数減少率が高かったセクタは、公立2年制大学（2.4%減）と4年制営利大学（13.7%減）。
- ・25歳以上の学生は、2015年秋学期在籍者全体の36%を占めるが、前年同期からの在籍者減少数の91%が25歳以上の学生。
- ・2015年秋学期の2年制公立大学在籍者数は前年同期から14万5,000人減少し、2013年同期からは42万3,000人減少。また、減少数の89%が25歳以上の学生。
- ・2015年秋学期在籍者の86%は学士課程に在籍。
- ・4年制公立大学在籍者数は前年同期比0.4%増。一方、4年制私立非営利大学は同0.3%減で、パートタイム学生数の減少率が3.1%と最大。
- ・全体でパートタイム学生数の減少率が2.1%であるのに対し、フルタイム学生数の減少率は1.5%。
- ・女子学生数の減少率が2.0%であるのに対し、男子学生数の減少率は1.4%。
- ・全米の37州で在籍者数が減少したのに対し、13州とワシントンDCでは増加。

なお、本報告書は、<<https://nscresearchcenter.org/currenttermenrollmentestimate-fall2015/>>から閲覧可能。

National Student Clearinghouse, College Enrollment Down Once Again

<https://nscnews.org/college-enrollment-down-once-again/>